

FSCの設立趣旨

土地、植物、動物及びそれらを取り巻く環境を生命系として教育・研究を行うとともに、これらの研究成果を通して、広く地域社会の発展に寄与することを目的とする。



マンクス・ロフタンに人工授精

10月18日に、羊の希少種であるマンクス・ロフタン種(5頭)にラパAI(子宮内人工授精)を実施しました。前号でも紹介した、腹腔鏡下で子宮内に直接精液を注入する方法です。この技術の先駆者である北海道の河野先生をお招きして、本学動物病院の協力のもと、5頭中4頭に実施することが出来ました。河野先生の指導の下、本技術の手順や実技を講習していただき、本学獣医師への技術の伝承にもご協力いただきました。後日、妊娠診断したところ、実施した4頭中2頭の妊娠を確認することが出来、大変すばらしい結果となりました。今後は、子宮頸管内授精による人工授精を試みようと考えています。羊への負担と術者への負担がなるべく少ないAI技術を確立することを目指しています。

デントコーンを収穫しました。

左: 昨年の収穫風景 右: 今年の最新機械 下: 収穫中の畑



今年のデントコーンは発育も良く、非常に良好な状態での収穫となりました。毎年、(株)ヤンマーアグリジャパンに委託し、大型機械を持ち込んでいただき収穫してもらいます。今年は従来とは違い、刈取と細断、梱包が一つになった最新機械がやってきました(写真右上)。従来は、刈取と細断をする機械と梱包する機械が並走する形で収穫していました(写真左上)。運ぶ機械が1台で済むほか、小回りが利くうえ、細断したデントコーンが直接梱包部分に入るので、ロスが少ないように感じました。技術の進歩はすさまじいです。

今号のどうぶつ紹介



牛 日本短角種
里藤(さとふじ)

和牛といわれる品種が4品種あるのはご存知でしょうか。よく耳にするのは黒毛和種ですよね。十和田農場では、和牛4品種の内、3品種を生体展示しています。その中で、北東北で古くから飼養されているのがこの日本短角種。ここでは種雄牛の里藤をご紹介します。里藤は毎年精液採取の実習に使われています。本学は、牛の精液採取を見ることが出来る数少ない大学です。

次号の予定 と 編集後記

1月18,19日 センター試験
2月下旬~羊の分娩開始
3月中 退職記念晩餐会

前号で紹介した万太郎くん、10月12日に老衰のためこの世を去りました。マンクス・ロフタン種を導入した2011年度から活躍してくれた万太郎くん、今までお疲れ様でした、そしてありがとう。



万太郎くん
(享年10歳)